

手話通訳者 配置促進を

フォーラム市の取り組み紹介

手話通訳者の自治体配置促進を訴えるフォーラムが21日、明石市東仲ノ町、子午線ホール(アスピア明石北館9階)であり、約200人が参加した。手話通訳職員を正規職員として2人採用し、福祉政策にも役立てている同市の取り組みが紹介された。

約1方1千人の会員がいる「全国手話通訳問題研究会」が主催。先進地の事例を広め、重要性を訴えようと毎年開いている。5回目を迎えたが、県内では初開催。同研究会による「聴覚障害者への理解が進む」と訴えた。

市は先進的という。フォーラムでは、泉房穂市長が手話を交えながら、障害者施策の現状と課題について基調講演。「聴覚障害者も当たり前」に暮らしやすい社会をつくるのが行政の責任と訴えた。手話通訳職員は「聴覚障害者への理解が進み、安心して暮らせる



講演する家根谷敦子市議＝東仲ノ町

地域づくりに取り組みたい」と話した。

続いて、生まれつき耳が聞こえず話せない家根谷敦子市議が演台に立ち、専門職員が採用されたことでコミュニケーションが改善されただけでなく、市役所内や議会の雰囲気が変わってきたと指摘。手話通訳者の自治体配置が、もっと広がってほしいと強調した。

同研究会や厚生労働省職員による講演もあった。

(藤井伸哉)

明石

■明石総局
〒673-0882
明石市相生町2-10-24
TEL・・・078-912-4343
FAX・・・078-913-2833
e-mail
akashi@kobe-np.co.jp

■本社報道部
〒650-8571
神戸市中央区
東川崎町1-5-7
TEL・・・078-362-7040
FAX・・・078-360-5501
e-mail
houdou@kobe-np.co.jp